

# 参加申込要綱

## 「第13期ビジネスイノベーション研究会」参加申込書

研究会へ参加をご希望の方は小会HPよりお申しいただくか、下記申込書に必要事項をご記入のうえメールもしくはFAXにてご送信ください。

ホームページからお申込みいただけます。   <http://www.jiit.or.jp/>

参加費 (1名様・税込み)	区分	参加費
		正会員/準会員
	会員外	286,000円

※ 参加費には消費税の10%を加算しております。  
 ※ 2名以上申込み参加の場合は、追加1名につき会員176,000円(税込)、一般209,000円(税込)となります。  
 ※ 現地視察に係る現地までの往復交通費、宿泊代、その他一部費用は各自ご負担となります。

第13期 ビジネスイノベーション研究会 参加申込書 開催期日:2024年11月~2025年2月 (全5回)			
会員区分	<input type="checkbox"/> 正会員/準会員 <input type="checkbox"/> 会員外	参加者人数	名
		参加費合計	円
ふりがな			
会社名			
住所	〒		
所属/役職			
申込責任者	E-Mail		
電話番号	FAX		
ご要望記入欄	Pjt: IN315		

※請求書は申込責任者様宛にてPDFをメールにて送付致します。それ以外をご希望の方はご要望記入欄にご記入下さい。

ご参加者①	E-Mail	
所属/役職		
ご参加者②	E-Mail	
所属/役職		

お問い合わせ・お申込先	個人情報の取扱いについて	事務局使用欄
公益社団法人企業情報化協会 TEL.03-3434-6677 FAX.03-3459-1704 〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-22 日本能率協会ビル 3F Homepage: <a href="http://www.jiit.or.jp">http://www.jiit.or.jp</a> E-Mail: <a href="mailto:entry@jiit.or.jp">entry@jiit.or.jp</a>	公益社団法人企業情報化協会(IT協会)は、個人情報の保護に努めております。詳細は小会のプライバシーポリシーをご覧ください。 今回、ご記入いただきました皆様の個人情報は、本催し(カンファレンス・セミナー・研究会)に関する確認・連絡および各種諸手続きのため機密保護契約を締結した業務委託先(事務局協力会社および郵便物発送業者)に預託することがありますのであらかじめご承知おきください。	

# 第13期 ビジネスイノベーション研究会

~デジタル時代のビッグデータ利活用によるビジネス革新~



### 研究テーマ

- スマートシティ
- 防災DX
- イノベーション
- OTセキュリティ
- データ活用
- 生成AI

### ご参加対象

情報システム部門責任者  
 情報システム機能子会社責任者  
 ITベンダー企業のご担当者・責任者

### 会期

2024年11月~2025年2月 (全5回)

### 開催形式

第1・5回 ハイブリッド開催/第2回 現地視察  
 第3・4回 オンライン開催

### <現地視察：山梨県>

- 『山梨県庁』
- 『山梨県総合農業技術センター』
- 『山梨県米倉山電力貯蔵技術研究サイト』
- 『山梨県立リニア見学センター』
- 『サニーソフト社 富士DX開発センター』



第13期  
 ビジネスイノベーション  
 コンソーシアム  
 企画委員会委員長



味の素株式会社  
 執行役専務  
 香田 隆之氏

コーディネーター

DACコンサルティング  
 代表・コンサルタント  
 データサイエンティスト  
 ファイナンシャルプランナー  
 入江 宏志氏





# 開催にあたって

デジタル化に伴い企業内外に蓄積されている多種多様で膨大なデータ（ビッグデータ）を分析し、企業の経営やビジネスの意思決定に活用することが、あらゆる企業にとって急務となっております。

AppleやMicrosoft、Amazonなどの世界的な企業が膨大なデータを保有・活用していることから、企業が活用するデータの価値の高さがうかがえます。ディープラーニング、AI、IoTなどの活用より、経営者は絶えず変化を続けるビジネスの局面で迅速かつ確かな意思決定を下すことが求められています。これらデジタルを駆使し、経営判断をサポートする武器としてビッグデータを活用することは、マーケティング戦略での重点施策決定や、様々なリスク回避など、企業の競争力強化の大きな源泉となっております。特にデータにひそむ知見を引き出し活用するためには、データを分析・予測・最適化するビジネス・アナリティクスの仕組み・予測モデルとシミュレーション等これに取り組む組織の形成や人材の育成が必須となっております。

その一方でセキュリティやコンプライアンスといった観点からの課題を危惧する声も聞かれます。小会では、“ビッグデータ”に着目し、その活用による有効性について、有識者による解説や先進事例を中心に紹介し、研究と情報収集を行う場の提供を目的として海外調査団の派遣およびシンポジウム、研究会を開催いたします。また、最新のデジタル技術についても共有することで、ビジネスにイノベーションを起こすきっかけにしたいと考えております。

## 第13期ビジネスイノベーションコンソーシアム企画委員一覧

研究会の具体的な研究項目・内容については、小会より委嘱されたビジネスイノベーションコンソーシアム企画委員会において検討頂き、取りまとめて頂きました。

○委員長

香田 隆之 味の素株式会社 執行役専務

○委員

土田 正道 株式会社IHIエスケープ ES統括部 担当部長

齋藤 祐介 アカチセ株式会社 代表取締役

滝沢 太 アセットマネジメントOne株式会社 DX推進グループ データマネジメント室 室長

加藤 啓介 味の素株式会社 DX推進部先進ITグループ・グループ長

石渡 貴 株式会社アトラスシー 常務取締役 経営統括本部 副本部長

榎本 和博 株式会社アンビシャス 代表取締役

水原 祥光 イツワ商事株式会社 営業本部 システム部 執行役員

加藤 雅史 株式会社wash-plus 取締役（開発責任者）

嶋田 基史 SCSK株式会社 技術戦略本部 本部長付

中島 亜弓 NRIシステムテクノ株式会社 取締役（事業推進担当）

山崎 恭弘 NTTコミュニケーションズ株式会社 BS本部 事業推進部 事業推進部門 担当課長

林 隆広 NTTコムウェア株式会社 エンタープライズソリューション事業本部 データマネージメントソリューション部 開発部門 BI/DWH開発担当 担当部長

萩原 克也 MS&ADシステムズ株式会社 DX推進部長 兼 デジタルシステム本部ディレクター

前田 佳彦 株式会社MTI 船舶物流技術グループ ESG活動支援チーム チーム長

広瀬 義行 オリックス銀行株式会社 IT・デジタル部門 管掌役員補佐

本橋 真美 カース株式会社 システム事業部 マネージャー

巽 龍太 関西電力株式会社 IT戦略室 IT企画部長

坂入 啓一 株式会社関電システムズ ソリューション本部 テクニカルラボ 部長

梅原 修一 サッポロホールディングス株式会社 DX・IT統括本部 DX企画部 部長

浅見 光昭 サニーソフト株式会社 営業顧問

鈴木 貴博 株式会社シーエーシー 取締役 兼 業務担当執行役員 デジタルソリューションビジネスユニット長

妹尾 宗樹 株式会社資生堂 モノづくり技術革新部 リードエンジニア

府川 利幸 大和ハウス工業株式会社 東京本社情報システム部 部長

入江 宏志 DACコンサルティング 代表 コンサルタント、データサイエンティスト、ファイナンシャル・プランナー

菊地 和徳 株式会社T&K TOKA 業務改革本部 IT統括部 部長

末 浩二郎 TIS株式会社 IT基盤技術事業本部 フェロー

井上 匡人 帝人株式会社 DX推進部 戦略企画グループ長

八城 光則 鉄道情報システム株式会社 第一営業企画部 営業企画課長

鈴木 淳一 株式会社電通グループ 電通イノベーションイニシアティブ プロデューサー

佐藤 信二 東京海上日動システムズ株式会社 営業戦略推進本部 営業ソリューションサービス部 担当部長

秋元 一博 東京ガス株式会社 DX推進部 デジタル開発グループ マネージャー

中田 康太 株式会社東芝 研究開発センター アナリティクスAIラボラトリー 主任研究員

松丸 剛 日本アイ・ビー・エム株式会社 IBMコンサルティング事業本部 金融サービス事業部 金融ビジネス・ソリューションズ 部長

渡邊 壮一郎 日本システム技術株式会社 東日本S I第二事業部 ビジネスソリューション部 部長

若目田 光生 株式会社日本総合研究所 創発戦略センター シニアスペシャリスト

小柳 和也 日本電気株式会社 デジタルトラスト推進統括部 プロフェッショナル

上原 穂高 株式会社日本能率協会総合研究所 社会イノベーション研究事業本部 交通研究部 部長

吉岡 祐 日本ヒューレットパッカード合同会社 ハイブリッドソリューションズ 事業統括本部 担当部長

浅見 真人 株式会社日立製作所 Lumada Strategy/Lumada Innovation Hub Tokyo Chief DX Producer

下村 真由 株式会社プラスアルファ・コンサルティング タレントパレット事業部・執行役員

野田 純也 みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 先端技術研究部 部長

多賀 洋志 三井E&Sシステム技研株式会社 DX推進部長

富士本 州勇 三菱HCキャピタル株式会社 経営企画本部 デジタル戦略企画部長

前田 宏明 明治安田生命保険相互会社 執行役員 情報システム部長

西田 武司 株式会社Regrit Partners Consulting Business Managing Director

井上 良太 理研ピタミン株式会社 草加工場 生産技術課 課長

佐々木 宏 立教大学 経営学部 教授

(社名・団体名50音順、敬称略)

## 各回の基本スケジュール

14:00～14:10	コーディネーターによる課題提起
14:10～14:55	ゲストスピーカーによる講演 (1)
14:55～15:05	休憩
15:05～15:50	ゲストスピーカーによる講演 (2)
15:50～16:55	ディスカッション・情報交換・発表・質疑応答
16:55～17:00	コーディネーターによるまとめ

※第1回・第5回会合終了後に参加者交流会（懇親会）を開催致します。

※基本スケジュールは開催回によって変更される場合があります。

※各会合の詳細につきましては、開催10日～1週間前までを目処に、ご参加者様へメールにてご案内いたします。

# 各回プログラム・内容

プログラム内容は変更となる場合がございます。プログラムテーマは一部仮題を含みます。

## 第1回 11月13日(水) スマートシティで描く地方の未来・防災DXの実現

### 『デジタルイノベーションによる地方創生』

地方都市は今、深刻な人口減少、高齢化、財政難に直面しています。その一方で、ドローンやマルチモビリティ、ワーケーションなど、テクノロジーを駆使して地域の発展を図る地方都市も出てきました。デジタルフル装備のキャンピングカーで日本全国を巡り、総務省「ICT街づくり推進会議」で先進的な地方都市を視察した講師が自らの経験をもとに、デジタルイノベーションによる地方創生について参加者と共に考察します。

東京大学大学院

情報理工系研究科 非常勤講師

牧野 司氏

### 『防災DXを本気で進めるには何が必要か』

頻発化・巨大化・複雑化する自然災害に対し、少子高齢化等により脆弱化する社会において、従来の防災・災害対応ではもはや限界である。そのため、デジタル技術を最大限に活用した防災デジタルトランスフォーメーション(防災DX)が求められている。本講演では、直近の災害における産官学の対応事例や最新の取り組みを概観した上で、企業が真に防災DXを実現するための戦略と課題を考察する。

国立研究開発法人 防災科学技術研究所

総合防災情報センター センター長

白田 裕一郎氏

## 第2回 12月5日(木)・6日(金) 現地視察 (山梨県) ※現地集合、現地解散となります。

### Special Program

### 『甲斐の国でデジタル探訪～山梨県訪問～』

○山梨県庁

○山梨県総合農業技術センター

○山梨県米倉山電力貯蔵技術研究サイト

○山梨県立リニア見学センター

○サニーソフト社 富士DX開発センター



## 第3回 2025年1月24日(金) イノベーションの醸成・OTにおけるセキュリティ対策

### 『境界を越えて価値を創造する—バウンダリースパナーとインパクト投資が加速するイノベーションの未来』

イノベーションを加速するためには、境界を越えて新たな価値を創造する「バウンダリースパナー」としての視点が重要です。シリコンバレーでの経験、技術移転機関設立、メディカルヘルスケア領域での大型プロジェクト構築等の国内外産学官連携を通して得た学びや、インパクト投資の実践的アプローチ、慶應義塾大学で担当中のインパクト人材調査を紹介し、リーダーがイノベーションを推進するための戦略的な視点を提供します。

株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ(KII)/慶應義塾大学

プリンシパル/特任准教授

宜保 友理子氏

### 『自動運転におけるAIセキュリティについて』

自動運転車に搭載されるAIは、カメラやセンサーなどで取得した周辺情報を基に環境認識を行い、車両の挙動制御や経路計画など、重要な判断を下します。しかし、この高度な技術には自動運転に特有のセキュリティリスクも存在しています。本講演では、自動運転におけるAIの概要、AIを標的としたサイバー攻撃の脅威、およびこれらのリスクを軽減するための対策について、分かりやすく解説します。

三井物産セキュアディレクション株式会社

プロダクト&ソリューション事業部 AI&高度先端技術開発

シニアエキスパート 高江洲 勲氏

## 第4回 2月12日(水) 真のデータドリブン経営・データのビジネス化

### 『ほんとうのデータドリブン経営』

「データドリブン経営」は誰でも用語の意味合いについて凡そイメージできているものの、『何の為にやるの?』『ドリブン=駆動』させるデータって具体的に何なの?』という本質が分からずにHowを学ぶ話題が多すぎると感じています。このため、本講演では、「Why」を紐解き、「What」を定義したうえで、データ分析の本質と限界、それを捕捉するための「How」について、前職で実践してきた事例に基づいて、解き明かしていきます。

日本アイ・ビー・エム株式会社

IBMコンサルティング事業本部 金融サービス事業部

金融ビジネス・ソリューションズ 部長

松丸 剛氏

### 『コインランドリーにおけるデータ活用:新たな可能性を拓くスマートランドリーシステム』

コインランドリー業界でのデータ活用は、顧客行動の分析にとどまらず、顧客満足度向上や業務効率化、新たなビジネスモデルの創出に貢献します。外部データとの組み合わせで、精度の高い需要予測や柔軟な価格設定も可能です。日常的なサービスであるコインランドリーに、データを活用することで新たな価値が生まれます。本講演では、具体的な事例を通じてデータ活用の重要性とその可能性を解説します。

株式会社wash-plus

取締役

加藤 雅史氏

## 第5回 2月26日(水) 生成AIの現在と未来

### 『生成AIを用いた事例とHPEのプライベートクラウドAIの最新ソリューションについて』

生成AIのビジネス活用事例を紹介し、HPEのプライベートクラウドAIソリューションの最新動向について解説します。企業が安全かつ効率的にAI技術を導入・活用するための方法や、デジタルトランスフォーメーションを加速させる実践的なアプローチを提案します。

日本ヒューレットパッカード合同会社

ハイブリッドクラウド事業統括 担当部長

吉岡 祐氏

### 『生成AIの利活用に向けて、技術概要と事例の紹介』

2022年11月にChatGPTが登場し、瞬間にムーブメントが起きました。今では多くの企業の現場で生成AIの利活用が進んでいます。登場から2年が経過し、いま現在、企業ではどのようなシーンで生成AIが利活用されているのか、どういった課題があるのかなど、生成AIのいくつかの技術の特徴(概要レベル)を踏まえながら、生成AIの事例を紹介します。

SCSK株式会社

技術戦略本部 先進技術部 部長

鍛冶 康次氏